



つべつ

第98号

社協だより

編集 社会福祉法人 津別町社会福祉協議会 令和4年1月1日発行
<http://www.protech-web.co.jp/homepage/tsubetsu/index.html>
<https://www.facebook.com/tsubetsushakyo/>

社協あぐり 収穫祭



北辰土建株式会社 様



道路工業・
河西経常建設共同企業体 様

ボランティアさんにご協力いただき、ひきこもり者等の活動の場として農園「社協あぐり」を運営しています。10月16日（土）に、収穫した大根の販売とカレーライスの無料配布を行いました。10月25日（月）には手をつなぐ育成会が販売する味噌の原料となる青大豆刈りを実施。地域貢献活動として、相生地区の国道改修工事を施工している建設会社の職員のみなさんにご協力いただきました。

本年も社協活動へのご協力よろしくお願い申し上げます

● この社協だよりは、共同募金の配分金を活用しています。

一層の相談支援体制を充実し、誰もが安心して住み続けられるまちを目指して

謹賀新年



津別町社会福祉協議会
会長 山田 英孝

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

前任の原田会長は、6期12年津別町社会福祉協議会の会長として地域福祉推進に尽力されました。私は、昨年6月にその任を引き継ぎました山田です。前任会長同様にご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響は丸2年になります。新規感染者が抑えられているものの新たな

オミクロン株による感染拡大の恐れもあり、3回目のワクチン接種への期待とともに、引き続き手指消毒、マスク着用、3蜜など感染予防をしながら活動を進めていかなければなりません。

今年は、令和2年度からスタートした「第2期地域福祉計画・第5期地域福祉実践計画」の3年次を迎えます。昨年5月に新築となった役場新庁舎・健康福祉センターに社協事務所が移転し、町役場との一層の連



携が図られているところです。

社協窓口での相談と合わせ、地域主体の身近な福祉相談所「ぽっと」の取り組みにみられる声掛けや見守りなど予防福祉を展望した取り組みを進めていきます。

また、成年後見制度の相談や申立支援、ひきこもり者、生活困窮者支援等、国の重層的支援体制整備事業を活用しながら地域共生社会を目指した取り組みも進めていきます。

合わせて、住民の皆さんとの協働事業では、介護予防いきいきポイント事業、生活支援サポートセンター事業、ふれあいサロン事業、ちよこつと茶屋事業など、地域の中に気軽に集える場の確保など、コロナ禍の中、工夫をしながら活動の支援を継続していきます。

本年も、役職員一丸となり、町や自治会、福祉団体など関係者の皆さんと共に、安心して暮らし続けられる地域づくりを推進してまいりますので、より一層の皆さんからのご支援を心からお願ひ申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

社会福祉法人

津別町社会福祉協議会

会長 山田 英孝

副会長 篠森 紀仁

理事 山内 浩子

理事 荒川 博明

理事 伊東 美喜子

理事 大場 建男

理事 大東 勲

理事 鹿中 栄子

理事 庄子 京子

理事 中山 静男

理事 水上 隆

理事 房田 敏彦

監事 小笠原 正之

事務局長 細川 順市

事務局次長 小野 淳子

職員 門脇 隆司

職員 一同



11月2日に身近な福祉相談所ぽっとの意見交換会を開催しました。

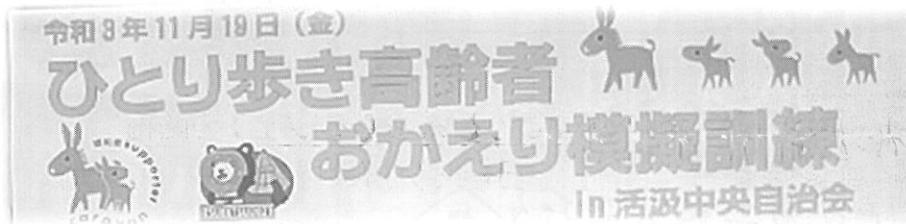
身近な福祉相談所ぽっとは、地域住民と役場職員、社協職員で構成されている、地域を拠点にした相談所です。平成27年に津別町と社協合同で津別町の全世帯の5分の1の訪問調査実施。何らかの支援を要する世帯が3割、15歳以上64歳未満の中で長期のひきこもり者は2%等の調査結果となり、それらをもとに平成28年10月に旭町第3、平成28年11月活汲中央自治会、平成30年11月に豊永第3、平成31年11月に緑町第2で身近な福祉相談所ぽっとがスタートしました。現在、月1回から2回地域の会館で身近な福祉相談所ぽっとを開設し、見守りが必要な独居高齢世帯や夫婦世帯などへの訪問活動、引きこもり者の支援に向けた協議など担い手の方々と町、社協職員と協働で様々な取り組みを行っています。

今回の意見交換会は、身近な福祉相談所ぽっとがスタートして初めての4つのぽっとが集合しての意見交換会だったため、各ぽっとの活動報告と各ぽっとから活動の課題を出してもらいました。

ぽっとの活動が始まって、「サロンの開設や盆踊りなど自治会活動が活発になった。」「以前は道路で会っても挨拶程度だったが、ぽっとの活動がスタートしてからは病気のことなど踏み込んだ話ができるようになった。」など、地域の変化を感じながらも、4つのぽっとに共通した課題として、「担い手の高齢化、後継者がいない。」「もっとぽっとを知ってもらいたい」があり、地域の担い手、役場職員、社協職員でグループワークを行い、今後のぽっとの活動について検討しました。

今回他のぽっとの活動報告を聞くことができたので、自分たちのぽっとでも取り入れたいなど様々なことを考えることができ、今後も地域を拠点とした相談所として、各ぽっとの担い手さんと一緒に役場、社協職員も一丸となって活動していきたいと考えています。

認知症の人に やさしい津別町に。



徘徊高齢者を発見した時の声かけ訓練をおこないました。



認知症サポーター養成研修

活汲地区で開催しました。約1時間30分
認知症の症状、対応の仕方などの話を聞き
き、認知症の方には普段通りの接し方では
なく、症状に合った声かけや対応が必要だ
と学びました。(講師：社協 寺尾)



役者の皆さんは
旭町第3自治会
居宅職員
役場包括職員
社協職員
です。

認知症の行動を理解するための寸劇です。参加者
の方は行方不明になる高齢者はどんなことを考
え、どんな行動をとるのか理解したようです。





認知症関係の絵本等の展示

10/1～10/31まで役場内社協カウンター前に展示し、認知症の周知をしました。

『認知症の人にやさしい津別町に』の文字を作ってくれたのは・・・

立花 とうまくん(8歳)右・立花 るかくん(5歳)左兄弟です。(社協 立花職員の息子です。)

とても個性的で素敵な作品です。



ちよこつと茶屋(カフェ)の開催

10月19日(火)さんさん館でちよこつと茶屋を開催しました。関係者が集まり、お話をしたり、相談を受けたり、認知症の周知をする場所です。現在は不定期で開催をしています。

2月22日(火)には、家族(介護者)向けの開催をする予定です。

場所：健康福祉センター内ボランティア室
(社協カウンターななめ向かい)

10時～12時の間

※好きな時間に来てください！

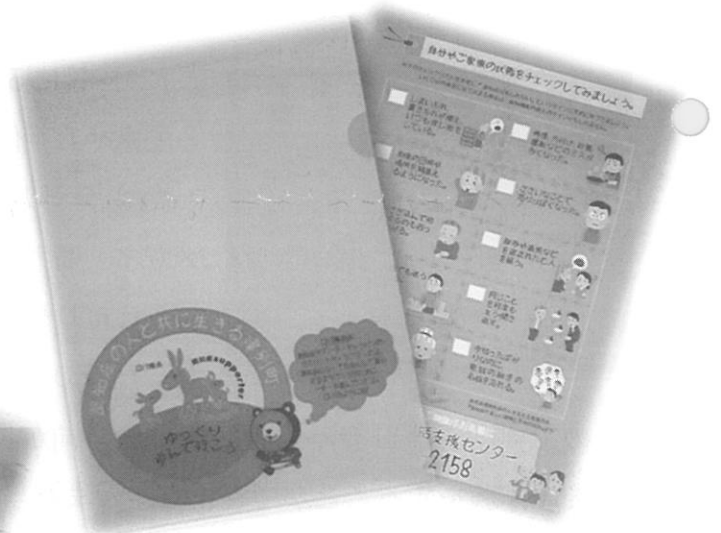
出前カフェの開催

12月15日(水)北見信金と郵便局のロビーで福祉相談窓口を開設しました。次回は2月15日(火)に行く予定です。

郵便局ロビー



北見信金ロビー



認知症の周知のためにクリアファイルを作製しました。研修会などで活用します。

津別小学校

総合的な学習の時間 を使って 福祉教育の授業を行いました

三年生

12月2日に3年生32名と津別町の高齢者のことや福祉について考える授業を行いました。「福祉ってなんだろう？」と考え、津別の福祉について学び、「津別の高齢者の方々が喜ぶことって何だろう？」ということを考えました。

子どもたちからは、「歌やダンスなどを披露」「折り紙」「クイズ」「めんこや百人一首」と様々な意見がでてきました。



そして12月22日豊永第4げんきサロンの方々と交流しました。子ども達からは津別小学校の校歌の披露があり、津別町出身の方々は思わず口ずさんでいました。

その後、子どもと高齢者が1組になり「変わり玉入れ」をして大いに盛り上がり、楽しい交流となりました。

五年生



12月9日に5年生35名と高齢者疑似体験を行い、高齢者に対する配慮やお手伝いを考えました。

高齢者疑似体験とは、白内障や視野狭窄を体験するための特殊メガネ、筋力低下や関節の動きにくさを体験するための手足に装着する重りやサポーター、などを身に付けることにより、高齢になった時の身体的機能低下や心理的变化を、疑似的に体験する

ものです。現在11歳の子どもたちは、「前が良く見えない。」「足が動かない。」と約60年から70年後の体験をすることができました。また当日、子どもたちがスムーズに疑似体験をできるようにと、ボランティアさん8名も参加していただき、楽しく疑似体験をすることができました。

今回は高齢者の体を体験しましたが、1月は車イス体験をして障がい者に対する配慮やお手伝いについて学びます。



赤い羽根共同募金会



パークゴルフ大会・ゲートボール大会を開催しました。



11月2日にパークゴルフ大会、11月27日にはゲートボール大会をコロナ禍ではありますが開催する事が出来ました。両大会も30名以上の方に参加して頂き、合計で24,900円の募金を集める事が出来ました。また、大東新聞販売店様には協賛して頂きました。今後とも、赤い羽根共同募金活動にご寄付のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



旭町第3縫物同好会

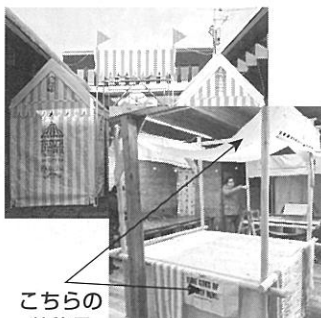


ぬいぐるみ
カーテンタッセル



今回は、自治会女性部の縫物の会がきっかけで、好きなメンバーが毎週土曜日に活動して10年が過ぎた縫物同好会です。みんな思い思いの作品作りに没頭しながらも、おしゃべりしながら活動している。ほとんどは人にあげてしまっています。

毎年、歳暮に添え親戚に贈ったり、手土産に使っている。



こちらの
装飾品

2019年2月の津別町初のイベントフードホールの装飾をお手伝いした。10日間びっしりミシン掛けをしたのが思い出です。現在は、メンバーも7人となったが、「若い世帯が増えそうだから、若いお母さんは興味がないかしら。入園・入学のお手伝いもできるし、教えるのに。じゃあ、何かしようか。」と、アイデアを膨らませて、また今日も作品作りに精を出しています。



心あたたまるご寄付ありがとうございました。

(令和3年9月21日から令和3年12月22日)

社会福祉協議会へ

◆香典返しを廃して

共 和 滝口 和弘 様 ・ 豊 永 中川真由美 様 ・ 幸 町 大東 邦博 様
 本 岐 森 寛子 様 ・ 恩 根 幾島 和幸 様 ・ 共 和 新井 元子 様
 共 和 中橋 房枝 様 ・ 木 樋 樫 智子 様 ・ 活 汲 後藤千枝子 様
 共 和 清水 静枝 様 ・ 共 和 丸尾 諭 様

◆その他

津別更生保護女性会 様

物品寄付

◆津別ライオンズクラブ 様

使用済み切手927枚

◆北海道コカ・コーラボトリング 様

町内の福祉施設へ 飲み物15箱



指定寄付

◆本幸老人クラブへ 幸 町 大東 邦博 様

◆活汲老人クラブへ 岩 富 細川 富雄 様

◆岩富自治会へ 岩 富 細川 富雄 様

◆恩根ひまわりクラブへ 恩 根 幾島 和幸 様

◆離町に際し

共和第1自治会へ 共 和 西村 房子 様

共和寿クラブへ 共 和 西村 房子 様

年末年始・1月の予定

■社会福祉協議会の休み

12月30日 ～ 1月4日まで

■訪問介護・訪問入浴サービスの休み

12月30日 ～ 1月4日まで

■給食サービスの休み

12月30日 ～ 1月4日まで

※12月31日おせち配達

※1月5日から開始。毎週火・金曜日

■コロナ禍のため中止となる事業

◆一人暮らしの集い

◆男の料理教室



わたしの作品展 開催中

町民のみなさんが趣味で作成している作品を募集しています。素敵な作品を展示してみませんか。社協まで、お気軽にお尋ねください。



クリスマス
タペストリー

R3/12/13
～ 12/24

石井和子さんの作品を展示していました
今後の展示もお楽しみに☆



編集後記

あぐり収穫祭をしました。認知症徘徊模擬訓練をしました。小学校で福祉教育をしました。少しずつ皆さんが集まる事業を展開できるようになり、活気が戻ってきたように感じます。感染防止を徹底しながら今後も進めて行きたいと思います。

高齢化率45%の津別町。認知症の方も今後増えていくと思われます。認知症になったから施設に入るのではなく、住み慣れた地域で暮らしていけるのが一番いいと思います。そのために、町民が認知症に対しての理解を深めるよう周知などに力を入れていきます。

(K)